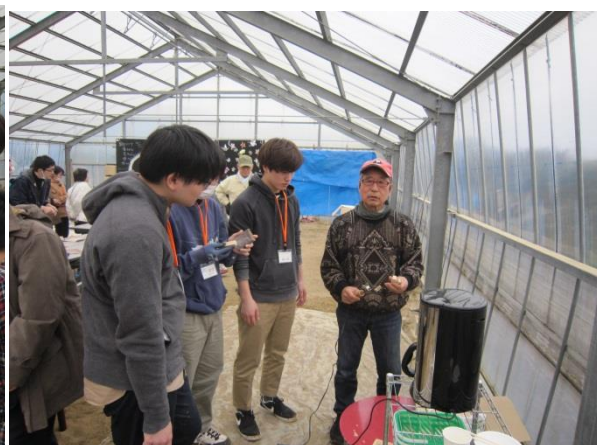


【新しい風が吹く】 インターンシップ生の受入



新潟市社会福祉協議会 課題解決型インターンシップ



新潟市社会福祉協議会 課題解決型インターンシップとは

新潟市社会福祉協議会 課題解決型インターンシップ



参加学生が達成すべきMission

ビニールハウスの居場所marugo-toに新たな男性シニア層の参加者を増やすための事業提案を行う



コミュニティへの参加を考える

第三の「縁」で男性シニアと地域活動を結ぶか。

実施概要

第1回目: 2019/2/18(月)～2/22(金)

第2回目: 2019/3/4(月)～3/8(金)

募集人数: 各回6名程度(最少履行人数1名～最大履行人数6名)

実施内容

ビニールハウスの居場所marugo-toで新たな男性シニア層の参加者を増やすための事業提案を行う。

主催: 新潟市社会福祉協議会

Mission達成に向けたキーワード

【ビジョン】

marugo-toに新しい男性シニア層の参加者を増やす

【コンセプト】

「地縁」「社縁」とは違う**第三の縁**で結びつける



参加学生からの事業提案



「YORU GO-TO」というコミュニティ

参加者がお酒を持ち寄ることで新たなコミュニケーションが生まれだせないか、そして、学生も運営に加わることで新たな混ざり合いも創出できないか。具体的には、その場にいる全員が参加者であり、盛り上げ役となり、カラオケや学生の出し物、marugo-toブロックを使ったジェンガ等を行う。

男性シニア×marugo-toらしさ=アイデア

男性シニアの好きな事を考え、「お酒が好き→おつまみも好き→おつまみづくりは楽しい→ブロックの木くずも利用できる」と発想を膨らませ、「燻製づくり」というアイデアが生まれてきた。

実際の燻製づくりにおいては、段ボールで燻製器を作ることし、燻製が出来上がるまでの時間には、普段のmarugo-toで行っている作業も体験してもらう。

食を通じてmarugo-toと結びつける

私たちが提案する企画は、男性料理教室「男飯なじらね」と作った料理をふるまう場としての「男飯食堂」の二つ。

毎日の食事を簡単に済ませている人や、反対にすごく凝った料理を作る方もいるなど、男性料理教室は男性の方が参加しやすいのではないかと。そして、男性シニアだけを結ぶのではなく、他の方も参加しやすい場として「男飯食堂」という会食の場も設けていきたい。

編集後記

今回のインターンシップを「新しい風が吹く」と表現する声が職員から聞かれた。marugo-toへの事業提案を指しての意味だけでなく、参加者と学生とがmarugo-toの場で交流する中で見られた表情や姿を指しての意味も含まれていたように思う。インターンシップという第三の縁が、双方にとっての良い変化を促す風ともなっている。

